

CGAT 展

図工の時間

美術の時間

2013/12/24(火) — 12/29(日)

12:00 ~ 19:00 (最終日は 17:00 まで)

12月26日(木) 17:00より、画廊にて懇親会を開きます。お気軽にご参加ください。



<場所>

茶白山画廊
JR・地下鉄天王寺駅、
近鉄あべの橋駅より徒歩5分
〒543-0063
大阪市天王寺区茶白山町 1-11

主催：CGAT 展実行委員会
協賛：日本文教出版株式会社



図工の時間・美術の時間は子どもたちの<いま>が動き出す時間です。

子どもたちの身体には、それまでの経験や、その時々発見などがいっぱいに取り込まれています。だから、材料を前にすると、やりたいことが今にも溢れ出しそうになるのです。子どものたちの<いま>が、形や色を通してどんどんと現われてくる…、図工や美術の時間は、そんな時間なのです。

図工や美術の時間、先生たちは、決して見栄えのよい作品をつくることや、展示に向けた作品をつくることを目指してはいません。手先・指先と、筆や彫刻刀などの道具が一体となり、次々と生まれるイメージを実現している姿や、体全体で材料とかかわる姿、或いは、様々な思いや感情を形や色に託そうと悩む姿…。先生たちは、そこに子どもたち一人ひとりの確かな<いま>と、<新しい世界の獲得>を見て、その時間がより充実するよう支援しているのです。

そして、何より大事なことは、このような子どもの成長が、単に造形能力だけの問題ではないということです。はじめて出会った材料や状況に、それまでの経験や想像を駆使して取り組み、自分にとっての新たな価値を生み出すこと…。友だちの様子を見たり感じたりすることで、表現という根源的な部分の真の多様性を実感すること…。このように、自分で物事を決め、他者を理解し、自由の意味を考えることは、これからの社会を豊かに生きていく上で、欠かせない大切な力なのです。

子どもの「作品展」は色々なところで開催されています。けれども、子どもたちが生き生きともはや意味を生み出している「授業の様子」は、一般にはあまり知られていません。先生たちはどんな題材を工夫しているのか、子どもたちはどんな様子で制作しているのか…。

本展を見ていただき、子どもたちの感性・創造性の豊かさに触れていただくことで、学校の中で、図工や美術の時間がいかに大切でかけがえのないものであるかを感じていただければ幸いです。

CGATは、Comfortable Gathering of Art Teachersの頭文字です。
図工・美術の先生たちが、肩肘張らずに集まろうという思いが込められています。
組織や形式にとらわれることなく、これまで実技研究や題材研究をしてきました。
本展はそこに参加してきた先生方を中心に構成されています。



大阪教育大学附属天王寺中学校 / 阿南 英子 大阪府立藤井寺支庁学校 / 飯野 彰子 堺市立深井中央中学校 / 伊藤 慶孝
堺市立三原台小学校 / 漆原 良美 大阪市立大隅西小学校 / 梅山 仁美 大阪市立舍利寺小学校 / 小椋 靖美
大阪教育大学附属天王寺小学校 / 狩谷 潤也 大阪市立舍利寺小学校 / 北村 仁資 岸和田市立春木小学校 / 河野 敬重
高槻市立第九中学校 / 小林 大志 大阪教育大学 / 佐藤 賢司 大阪教育大学附属天王寺中学校 / 首藤 友子
松原市立天美西小学校 / 城野 知佐 門真市立脇田小学校 / 杉江 ゆかり 摂津市立第三中学校 / 宣 昌大
門真市立門真はすはな中学校 / 谷口 万起子 四條畷市立くすのき小学校 / 田中 伸 柏原市立柏原中学校 / 千竈 隆史
大阪教育大学附属天王寺小学校 / 那賀 典仁 堺市立野田小学校 / 中野 貴之 羽曳野市立峰塚中学校 / 中島 嵩
大阪教育大学附属平野小学校 / 新居 奈津子 大阪市立田島中学校 / 仁張 誠子 和歌山市立雄湊小学校 / 西井 恵美子
岸和田市立八木南小学校 / 畑中 蘭子 岸和田市立朝陽小学校 / 久山 遙 枚方市立香陽小学校 / ビオルコフスキー 潤
大阪教育大学附属高等学校天王寺校舎 / 福元 幸恵 岸和田市立春木小学校 / 古谷 和歳 大阪聖母学院小学校 / 福田 沙和香
大阪教育大学附属天王寺小学校 / 松島 麻里 四條畷市立忍ヶ丘小学校 / 松浦 博孝 門真市立脇田小学校 / 村西 舞
大阪教育大学附属平野小学校 / 森 美香子 大阪市立墨江丘中学校 / 山田 莊子 四條畷市立四條畷小学校 / 山口 聖生
大阪教育大学 / 渡邊 美香 大阪教育大学「現代的教育課題とアート」受講生